

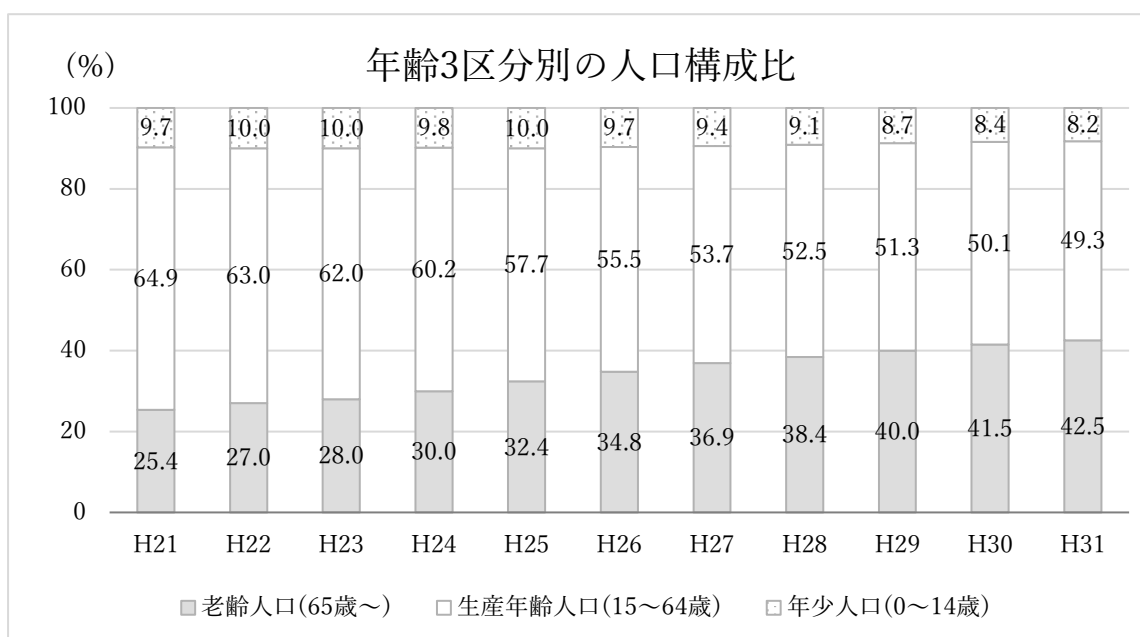
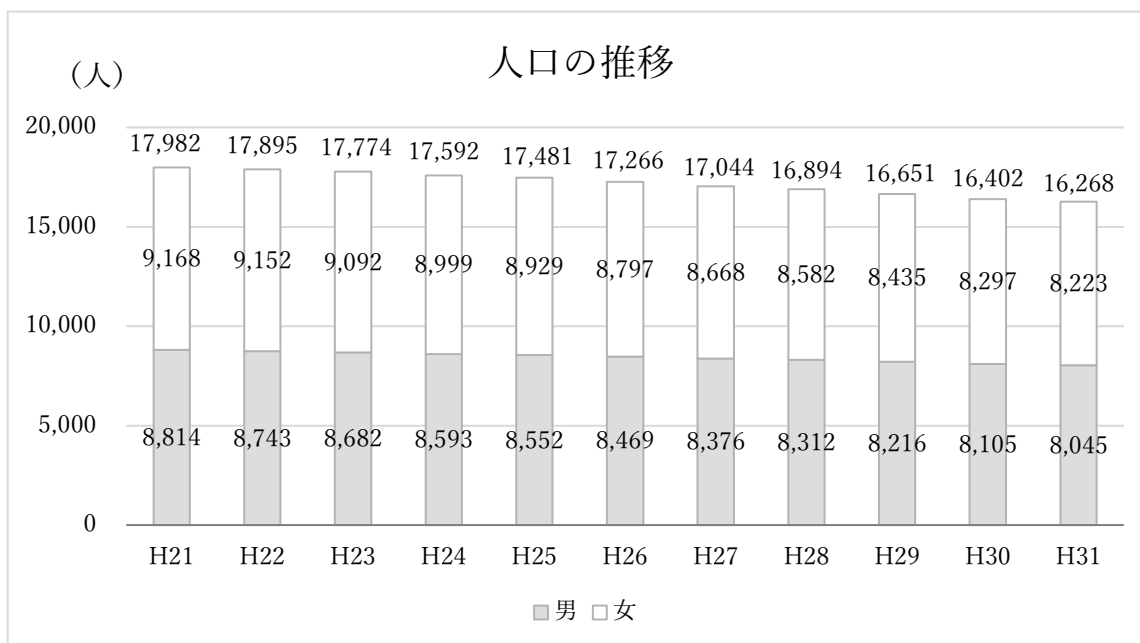
第2章 利根町の現状

1. 人口の推移
2. 出生数及び合計特殊出生率の推移
3. 未婚率の推移
4. 女性の年齢階級別労働力率
5. 女性の管理的職業従事者の割合

第2章 利根町の現状

1. 人口の推移

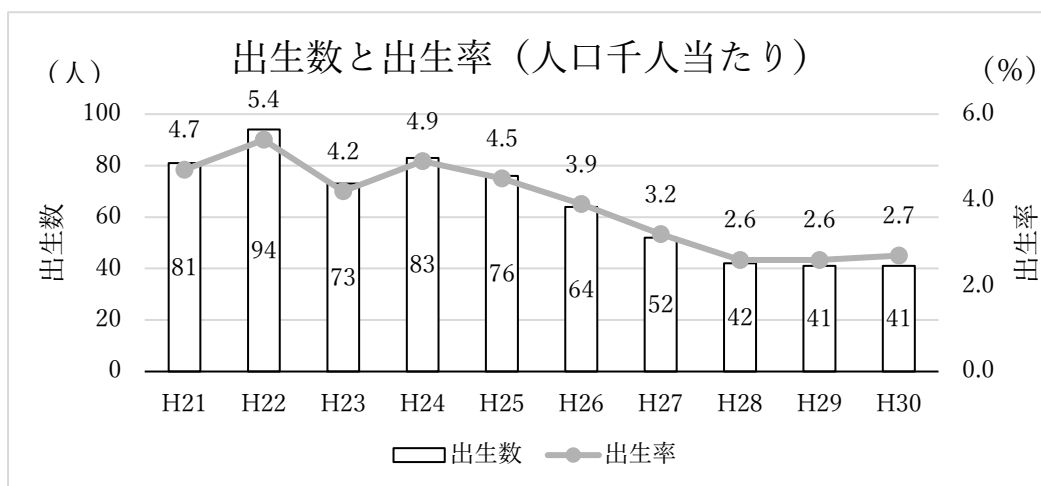
本町の人口は減少傾向にあります。年齢3区分別人口構成比で比較すると、生産年齢人口及び年少人口は、減少が続いているのに対し、高齢人口は増加しています。高齢化率（総人口に占める高齢人口の割合）をみると、平成31年4月時点では、42.5%となっており、少子高齢化が急速に進んでいることがわかります。



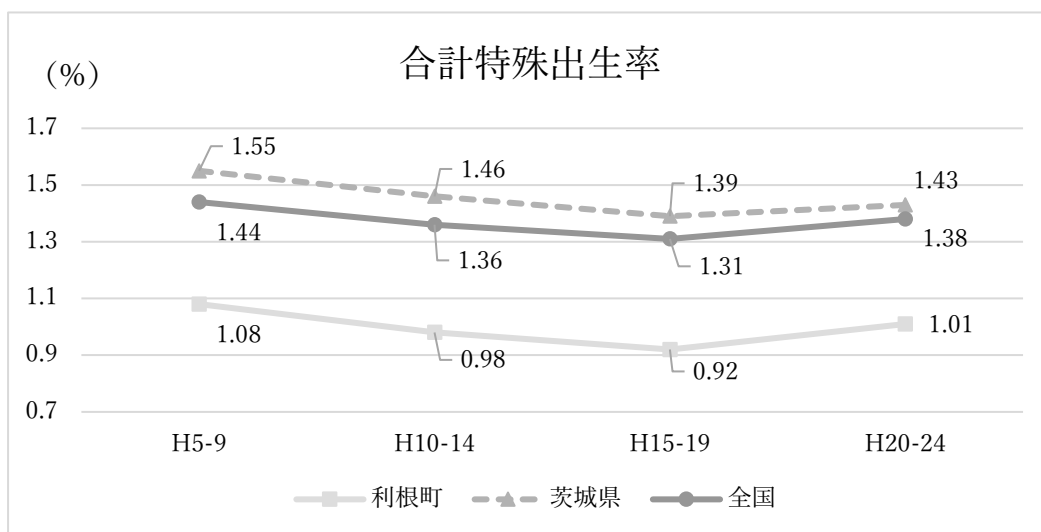
※人口は、4月1日現在の住民基本台帳人口を示しています。

2. 出生数及び合計特殊出生率の推移

本町の出生数及び出生率（人口千人当たりの出生数）は、平成24年以降減少傾向が続いていましたが、近年では同程度で推移しています。また、合計特殊出生率⁸は、全国平均と比べ低く、全国の市区町村別にみても常に下位30位までに入っています。平成20年から24年では多少増加に転じてはいますが、いまだ1.0前後で推移している状況です。



資料：人口動態調査

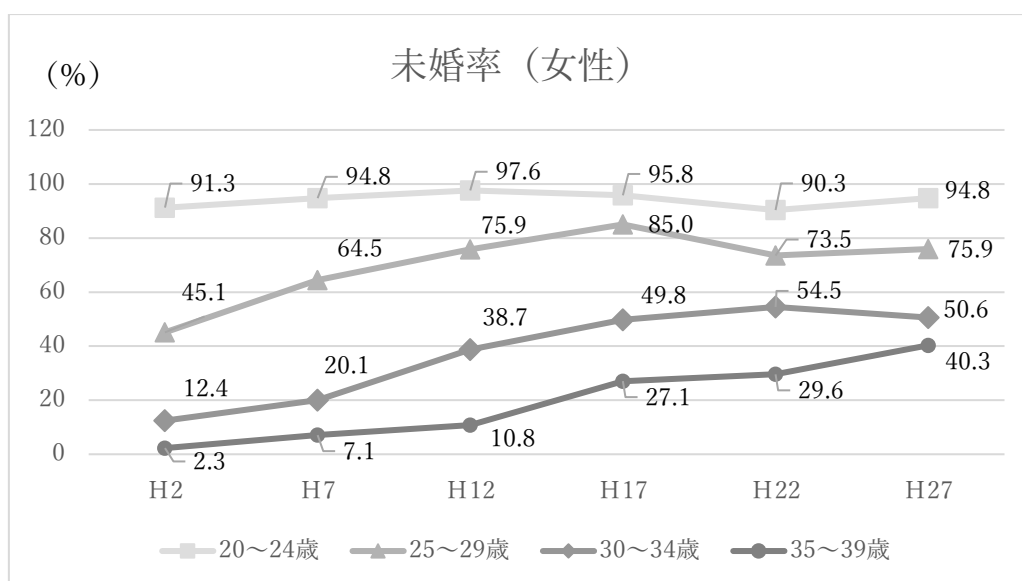
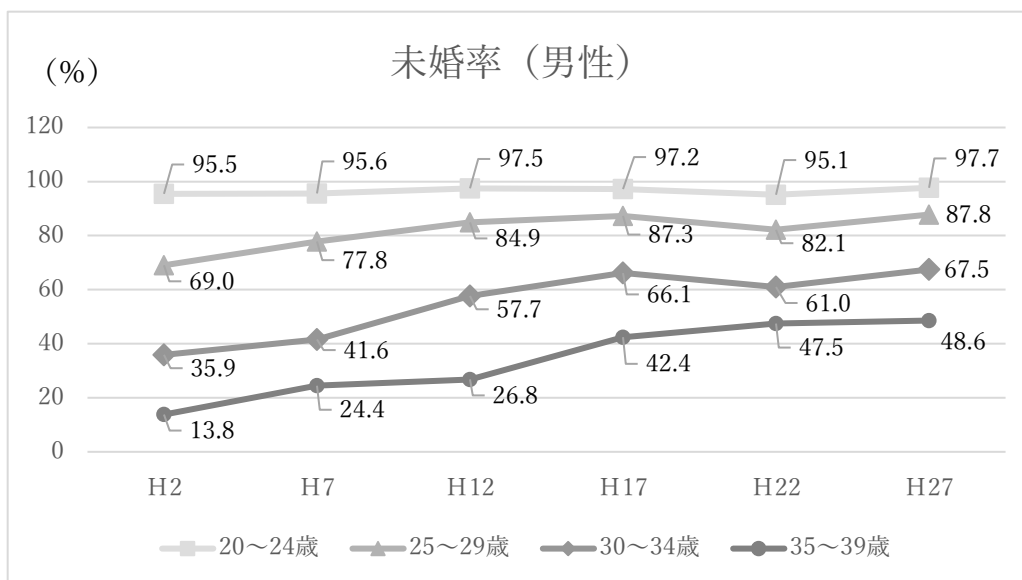


資料：人口動態統計特殊報告

⁸ 合計特殊出生率 1人の女性が生涯に産むことが見込まれる子どもの数を示す指標。年齢ごとに区分された女子人口に対する出生数の比率を年齢別出生率といい、合計特殊出生率は15～49歳の年齢別出生率の合計。（市町村単位では、年間の出生数などの標本サイズが小さいため、5年間での合計特殊出生率を示す。）

3. 未婚率の推移

平成2年から平成27年までの未婚率の値を比較すると、男性、女性とも特に30代での未婚率が高くなってきています。また、女性より男性の未婚率が高くなっていきます。



資料：国勢調査

4. 女性の年齢階級別労働力率

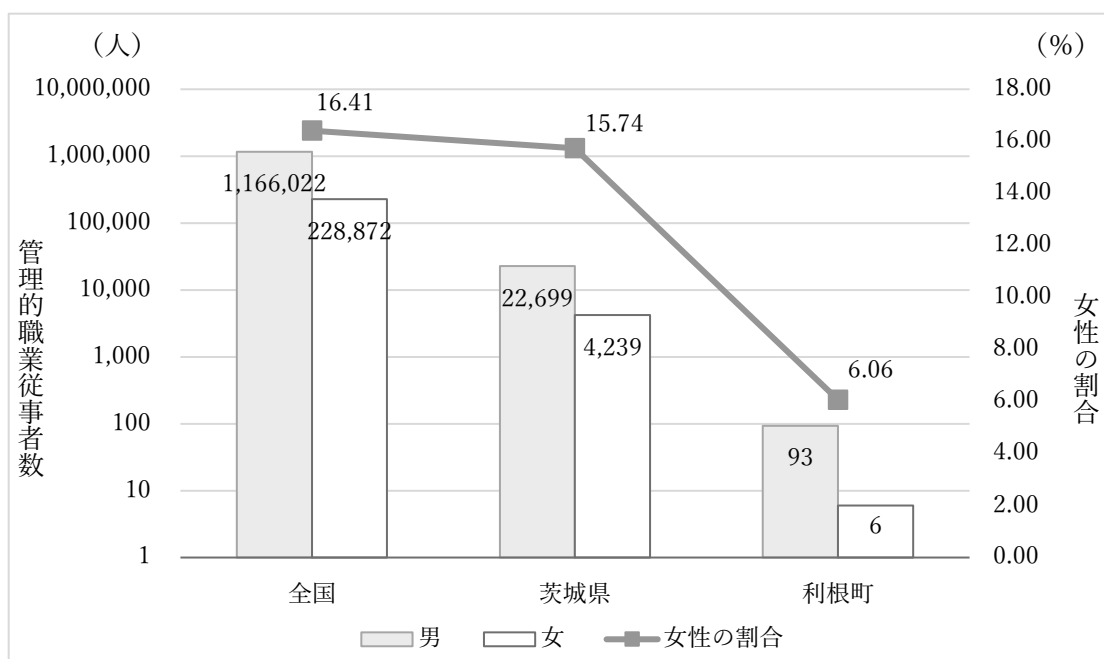
本町の女性の労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口（就業者＋完全失業者）の割合）は41.6%で、全国平均の50%と比較して低い傾向にあります。しかし、年齢階級別にみますと、50歳未満においては全国や茨城県と比べても高くなっています。しかし、全国と同様に30代女性の労働力率が前後の年代と比べると低い傾向にあることから、仕事と育児等の両立が進んでいないことが考えられます。また、50歳以上、特に60歳～80歳にかけての女性の労働力率が全国と比べ低くなっています。



資料：平成27年国勢調査

5. 女性の管理的職業従事者の割合

本町の管理的職業従事者に占める女性の割合は、約6%で全国平均の16.4%、茨城県の15.7%と比較して、非常に低くなっており、女性の管理職登用が進んでいないことがわかります。



資料：平成27年国勢調査

